

平成20事業年度

決 算 報 告 書

【 第 5 期 】

自：平成20年 4月 1日

至：平成21年 3月31日

国立大学法人 京都大学

平成 20 年度 決算報告書

国立大学法人 京都大学

(単位:百万円)

区 分	予 算	決 算	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	60,868	60,868	-	
施設整備費補助金	5,511	7,547	2,036	(注1)
補助金等収入	3,440	6,370	2,930	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	153	153	-	
自己収入	37,779	40,734	2,955	
授業料、入学料及び検定料収入	13,176	12,919	△ 257	
附属病院収入	24,081	26,509	2,428	(注3)
財産処分収入	-	14	14	
雑収入	522	1,292	770	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	28,660	29,211	551	
引当金取崩	-	105	105	(注5)
長期借入金収入	1,242	1,242	-	
目的積立金取崩	5,730	1,982	△ 3,748	(注6)
計	143,383	148,212	4,829	
支出				
業務費	91,862	87,874	△ 3,988	(注7)
教育研究経費	68,262	60,941	△ 7,321	
診療経費	23,600	26,933	3,333	
一般管理費	7,939	7,048	△ 891	(注8)
施設整備費	6,906	8,942	2,036	(注9)
補助金等	3,440	6,354	2,914	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	28,660	23,903	△ 4,757	(注11)
長期借入金償還金	4,576	4,570	△ 6	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	6	6	
計	143,383	138,697	△ 4,686	
収入-支出	-	9,515	9,515	

○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階では予定していなかった補助金の獲得により、予算額に比して決算額が2,036百万円多額となっております。
- (注2) 予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が2,930百万円多額となっております。
- (注3) 附属病院収入については、7:1看護の平年度化や手術室利用の拡大等による稼働額の増により、予算額に比して決算額が2,428百万円多額となっております。
- (注4) 雑収入については、主として施設使用料収入及び特許料収入、有価証券利息等により、予算額に比して決算額が770百万円多額となっております。
- (注5) 引当金取崩については、賞与引当金及び退職給付引当金の取崩を行ったため、予算額に比して105百万円多額となっております。
- (注6) 目的積立金取崩については、大型教育研究設備の整備等の一部を翌年度に実施することとしたため、予算額に比して決算額が3,748百万円少額となっております。
- (注7) (注6)に示した理由や経費の節減等により、予算額に比して決算額が3,988百万円少額となっております。
- (注8) (注6)に示した理由や経費の節減等により、予算額に比して決算額が891百万円少額となっております。
- (注9) (注1)に示した理由により、予算額に比して決算額が2,036百万円多額となっております。
- (注10) (注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が2,914百万円多額となっております。
- (注11) 寄附金による病棟施設整備事業等の支出の一部を翌年度に支出することとなったため、予算額に比して決算額が4,757百万円少額となっております。